令和元年度(2019年度) 熊本県教育功労(優秀教職員)表彰受賞者功績概要

令和元年(2019年)11月1日

【教職員】

No.	学校名 氏名	功績の概要
1	高森町立高森中央小学校 城井 順一	<p>●校内研究推進に優れた指導力</p> <p>町全体で進めている「教育の情報化」本校の実態に応じて深めていくために中心となって研究計画を練り、授業力向上の取組をリードしている。今年度は、特に遠隔授業やICT活用課題解決モデル「たかもり学習」の実践研究により、本校の授業改善の取組を推進させるとともに、教職員集団がチームとしてまとまり課題解決に向かうよう研修方法を工夫するなど、OJTの充実においても力を発揮している。</p>
2	御船町立滝尾小学校 那須 亮作	<p>●生徒指導を中心とした優れた指導力</p> <p>学級経営目標を常に指導の柱とし、学習指導、生徒指導とも丁寧な指導を継続し、児童の学習意欲の向上や互いを尊重し合う学級作りを行っている。そのため、児童が自らの役割を自覚し意欲的に学習や日常活動に取り組んでいる。また、御船町学力推進会議では、「徳」部会のリーダーとして町内の生徒指導を牽引している。</p>
3	八代市立文政小学校 浦田 尚美	<p>●授業マイスター(外国語・外国語活動)としての優れた指導力</p> <p>平成21年度に文部科学省・熊本県教育委員会から指定を受けた「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業」において、研究主任を務めた。</p> <p>平成30年度に授業マイスターの認定を受け、マイスターとして外国語活動の公開授業を行った。また、八代管内学力向上プロジェクトリーダーとして、管内の学力向上(英語・外国語活動)に寄与するとともに、本校での各担任の外国語活動における授業力向上にも貢献している。</p>
4	氷川町立竜北西部小学校 坂本 稔	<p>●算数科を中心にICTを活用した優れた指導力</p> <p>算数科を中心とした教科等の指導力が高く、一人一人に丁寧に向き合い、児童が主体的に学ぶ授業づくりを行うことで、学ぶ意欲の向上や基礎的事項の習熟が図られており、中堅・若手教師の手本となっている。</p> <p>ICT機器を活用した教材開発や学習内容の工夫を積み重ね、町内外教職員のICT活用研修の講師を務め、教職員の指導力向上に寄与している。また、児童への熱心な指導で、熊本県統計グラフコンクールで特別賞等を毎年受賞しており、町内児童の課題意識の向上や教科学習の活用力の醸成に貢献した。</p>
5	芦北町立佐敷小学校 中田 京子	<p>●初任者研修における優れた指導力</p> <p>初任者研修拠点校指導教員としての使命感と責任感をもち、通算6年間で24名の初任者指導にあたっている。初任者毎に個別の記録ノートを作成し、観察と傾聴により寄り添った指導を行っており、芦北管内はもとより、熊本県の教育振興・発展のために人材育成に貢献している。</p>
6	山江村立山田小学校 田代 優子	<p>●健康教育、食育に優れた指導力</p> <p>平成27年度・28年度熊本県教育委員会指定並びに文部科学省指定「スーパー食育スクール事業」において、食育担当研究員として研究推進に主導的な役割を果たした。校内での指導とともに家庭や関係団体と連携した取組を推進し、朝食摂取率、朝食共食率等食習慣の改善に力を尽くした。</p> <p>現任校では、引き続き食習慣の改善に取り組むとともに、真空調理機器の活用をとおした地産地消率の向上に取り組んでいる。令和2年度全国学校給食研究協議大会において、実践発表者となっている。</p>

No.	学校名 氏名	功績の概要
7	天草市立栖本小学校 福嶋 慶子	●校内研究を通じた学校全体の授業改善の取組 研究主任として豊富な経験と知識を持ち、児童や家庭、地域の実態を把握しながら、学校全体で授業改善に取り組み学力向上に努めた。担当クラスは毎年、県学力調査他、各種学力検査で前年度以上の成績を残し、結果的に学校全体の学力の向上につなげることができた。また、9年間を見通した教育の重要性に鑑み、校内研修の小中連携を積極的に推進し、中学校の学力も向上してきている。
8	宇城市立松橋中学校 田口 裕子	●保健体育科、生徒指導及び部活動指導等における優れた指導力 保健体育科担当教師として保健体育科の学習指導の充実に努め、採用以来長年に渡り第一線で活躍している。生徒が中心となって企画・運営を行う集会、委員会活動等に熱心に取り組み成果につなげた。また、体育的行事等においても学校の中心的存在として活躍している。部活動においては陸上競技をはじめ、担当した種目で全国大会や九州大会出場、県大会上位入賞など優秀な成績を収めた生徒の育成に大きく貢献した。
9	荒尾市立荒尾海陽中学校 吉坂 英樹	●人権教育に優れた指導力 人権教育において、児童生徒支援教員として校内研修はもとより、荒尾市人権同和教育研究協議会の事務局、荒尾玉名地区人権同和教育推進協議会の事務局長を長く歴任し、管内の人権・同和教育の充実に関して主導的な役割を果たしている。また、各学校の校内研での講師としても活躍し、児童生徒の進路保障、就学前から社会教育まで幅広い実践と理論は、管内はもちろん県内の人権・同和教育に大いに貢献している。
10	山鹿市立山鹿中学校 原口 弥生	●部活動指導における優れた指導力 部活動(合唱部)の指導においては、合唱の未経験者が多い中で、集団の力を活用しながら基礎基本を習得させ、歌唱力の向上を図っている。その成果として全日本合唱コンクール全国コンクール及びNHK全国学校音楽コンクール九州コンクールに、県代表として毎年出演させ優れた賞を受賞させるなど大きな成果をあげている。
11	合志市立西合志南中学校 高橋 誉	●生徒指導において優れた指導力 これまで10年以上に渡り各中学校で生徒指導主事として、校内における中核的存在としてリーダーシップを発揮し、「チーム学校」としての生徒指導体制の確立、問題行動等の未然防止、不登校解決に向けた積極的な生徒指導の推進を通して安心・安全な学校づくりに尽力してきた。さらには、地域との連携推進においても中核的存在として、西合志南中学校区生徒指導ネットワーク会議の事務局を務めてきた。
12	阿蘇市立一の宮中学校 志賀 貴文	●保健体育科における優れた指導力 「運動有能感」「仲間と積極的に関わり合う」「対話的な学習活動」の視点を中心とした授業づくりを行い、生徒の運動有能感を育むとともに、ICTの活用等により、生徒の分析力、判断力、表現力を生かしながら技能の向上に努めた。 今年度の県中学校保健体育研究発表大会において、授業者として公開授業を行う予定であり他の教員の指導力向上にも貢献している。阿蘇郡市中学校体育連盟の副理事長として、県大会の運営を率先して行うなど、阿蘇郡市全体の保健体育の充実に大きな役割を果たした。
13	山都町立矢部中学校 原田 力子	●健康教育・食育において優れた指導力 学校給食及び食育において、県内外の研究発表大会における発表や各種研修会の講師としても活躍し、地域における主導的な役割を果たしている。また、文部科学省の学校給食における衛生管理の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員及びマニュアル作成ワーキング委員を努めた経緯もあり、衛生管理のマニュアル作成に取り組むとともに全国大会における指導助言(食育及び衛生管理)等を行い、本県のみならず全国で指導的役割を果たしてきた。

No.	学校名 氏名	功績の概要
14	熊本県立第二高等学校 田尻 美千子	<p>●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の先進的な取組 授業開発部の中心人物として、スーパーサイエンスハイスクールや国の教育課程研究指定校事業における指導・評価方法の工夫・改善を、教科を超えて取り組んでいる。また、県内外の研究会等での事例報告・発表も、高い評価を受けている。</p> <p>具体的には、学びの効果や効率、授業の魅力を高める指導方法としてインストラクショナルデザインを取り入れ、生徒の主体性を引き出し、質の高い学びを実現する授業実践を積み重ね、あらゆる教科で活用できる手法を研究・開発している。また、カナダのICEモデル(I:知識、C:つながり、E:応用)を取り入れ、知識・技術の習得・活用・探究の視点で授業評価「二高ICE」モデルを開発し、全職員で共有している。</p>
15	熊本県立熊本西高等学校 門脇 永記	<p>●部活動(ラグビー)に優れた指導力 大学及び社会人と全国のトップチームで活躍した経験を活かし、保健体育教師としてラグビーの指導に力を発揮している。授業においても生徒に運動に対する興味・関心を高める授業展開は定評があり、ラグビーの全国大会出場や卒業後に大学や社会人として活躍する生徒を多数輩出している。また、本県の選抜少年チームの監督やラグビー協会理事・コーチ委員長としてラグビーを通しての生徒の健全育成や指導者の育成・ラグビー競技の普及に貢献している。</p>
16	熊本県立鹿本商工高等学校 田中 公治	<p>●生徒指導の学校全体としての組織的対応及び予防的対策の推進 生徒指導主事として、段階的指導を軸にした学校全体として組織的に生徒指導にあたる体制の構築及び意識を醸成した。また、生徒の変化をいち早く把握し、情報共有することで、問題の未然防止対策に成果を上げている。さらに、近年はインターネット・SNS等による問題の対応及び予防教育にも取り組んでいる。当該職員の取組みにより、特別指導件数は大幅に減少するなど生徒は非常に落ち着き、地域住民からの信頼を得ることに大きく貢献した。</p>
17	熊本県立玉名工業高等学校 下田 和裕	<p>●生徒指導においてリーダーシップを発揮 生徒指導主事として、情報モラル教育の更なる充実やネットいじめ等の早期対応について全職員を巻き込んで積極的に取り組んでいる。学校外では、平成30年度に玉名地区学校等警察連絡協議会事務局長、今年度は荒尾・玉名地区高等学校生徒指導連絡協議会事務局長として、緊密な情報交換はもとより、重大な生徒指導・いじめ事案の発生を未然に防ぐための各校の効果的な実践事例等の情報共有を図っている。</p>
18	熊本県立熊本支援学校 高木 優子	<p>●保護者と連携した取組及び若手職員の育成による特別支援教育の基礎づくり 特に小学部段階での日常生活の指導を基盤とした教育や保護者との連携において、高い専門性を生かし温かくも的確に指導・助言し、学校と保護者が一体となった教育を実践してきた。また、その指導力の高さを生かし、初任者研修拠点校指導教員としても、初任者の個性と意欲を生かしながら、特別支援教育の奥深さを指導している。学部主事としても個々の教師の良さを見出し、人材育成を行い、特別支援教育の土台づくりにその情熱を注いでいる。</p>
19	熊本県立ひのくに高等支援学校 永野 誠	<p>●合理的配慮の視点に基づく園芸科の学習に優れた指導力 特別支援学校専門学科園芸科の学習指導において、合理的配慮の視点に基づく生徒の達成感や自己肯定感、自己有用感を引き出す授業を展開し、「働く力」の育成に優れた指導力を発揮している。また、大学との「花壇づくりにおける交流及び共同学習」では、大学生と生徒が学校生活や不安など様々な話を交わすことで、相互理解を深め、共に育つ学習活動を行っている。</p>

【教職員組織】

No.	教職員組織名	功績の概要
1	玉名市立小天小学校教職員一同	<p>●組織的な学力向上対策の継続・充実</p> <p>平成23・24年に玉名市から学力充実(向上)推進校に指定され、平成24年度に研究発表を行った後も継続して国語科の研究に取り組み、毎年、自主研究発表(公開授業研究会)を行っている。すべての研究授業において、研究推進委員会での学習指導案検討、模擬授業形式の事前研、外部指導者を招きワークショップ形式で行う質の高い授業研究会の実施等、チームとして取り組むことで授業者の負担を軽減するばかりでなく、実りも大きく教職員の授業改善につながっている。併せて授業と並行した読書指導、ノート検定、学習環境整備、家庭学習の手引き活用、みかんファイル(過去問題集)活用等、充実した日常指導の実践により、児童の学力は高く推移し、さらに年々向上している。</p>